

鳥獣保護管理プランナー

岡野 美佐夫

対象鳥獣
二ホンザル

活動地域
神奈川県

株式会社野生動物保護管理事務所

《東京都第001号認定鳥獣捕獲等事業者》

事業内容

二ホンザル生息状況調査

事業の背景

平成15年に二ホンザル保護管理計画を策定し、農作物被害等の軽減と二ホンザル地域個体群の保全との両立を図ってきた神奈川県は、加害群の数、生息頭数等を把握しており、平成29年度からは群れを選別して数群の除去を行い、また半数以上の群れの群れサイズを縮小させている。こうした個体数管理が計画通りに進んでいるかを把握するうえで、モニタリング調査の重要性がますます高まってきている。

依頼を受けて実施した内容

モニタリング調査として、1) 個体数調査、2) 行動域調査、3) 電波発信器またはGPS首輪の装着を実施した。個体数調査は群れの増減傾向を把握し、目標とする頭数に抑えられているかを確認するための調査である。行動域調査は電波発信器またはGPS首輪を利用して、各群れの行動域、集中利用地域、移動経路を調べ、合わせて加害レベルの判定を行うものである。これは群れ捕獲をする際の檻の設置場所選定にも使われる。これらの調査や効果的な追い払い等の被害対策を実施するためには、電波発信器を各群れに装着する必要があるため、毎年、電池寿命の迫った群れについて、電波発信器ないしGPS首輪の装着を行っている。

事業の結果

群れの除去や群れサイズの縮小を実施する中で、群れの分裂や行動域の変化が起こり、期待通りに進まない面もあるが、ここまで群れごとの管理目標を明確にし、具体的な管理体制をとる県は少ないため、神奈川県の実践は全国の二ホンザル管理にとって非常に参考になるものと考えている。

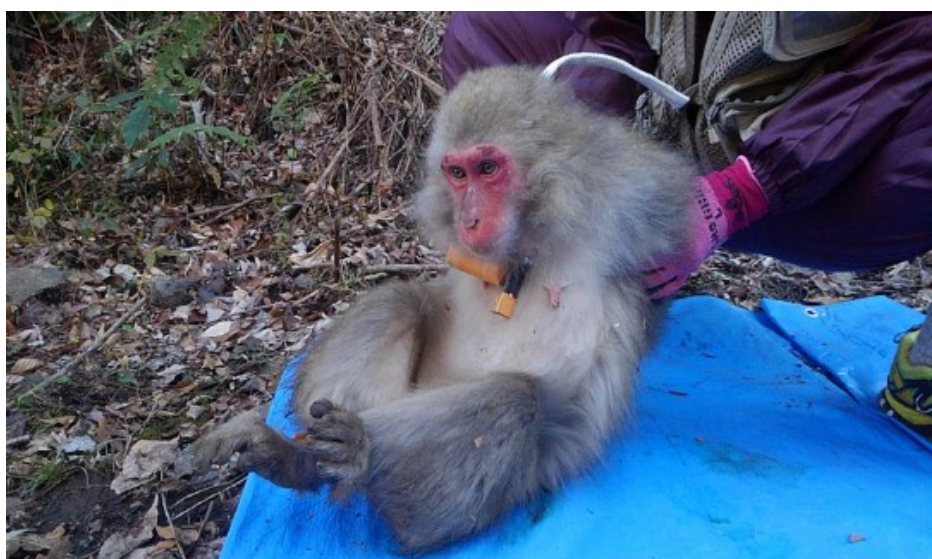


写真1 GPS首輪を装着したメスザル



写真2 個体数調査風景